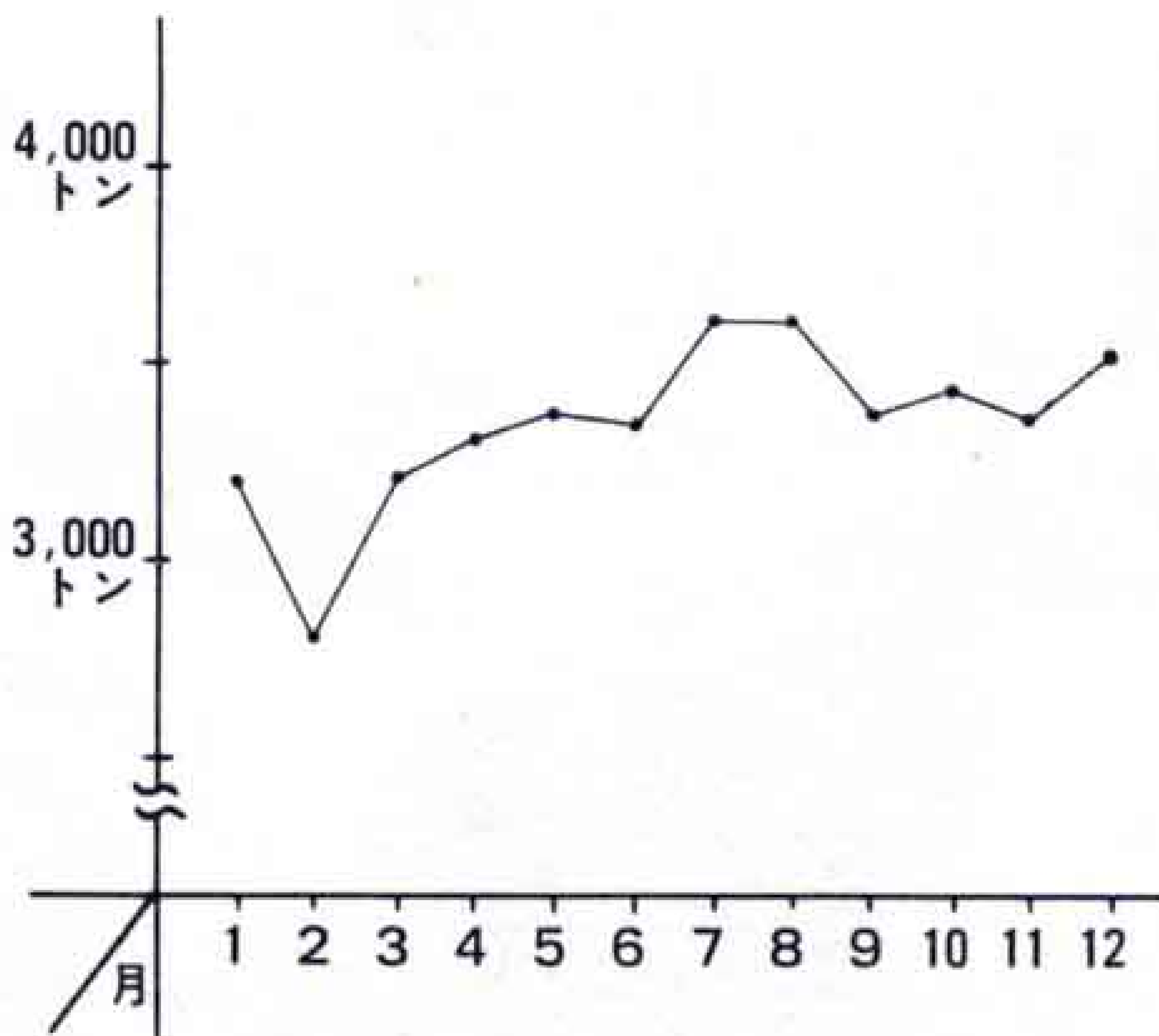


この夏の

# こまるんです

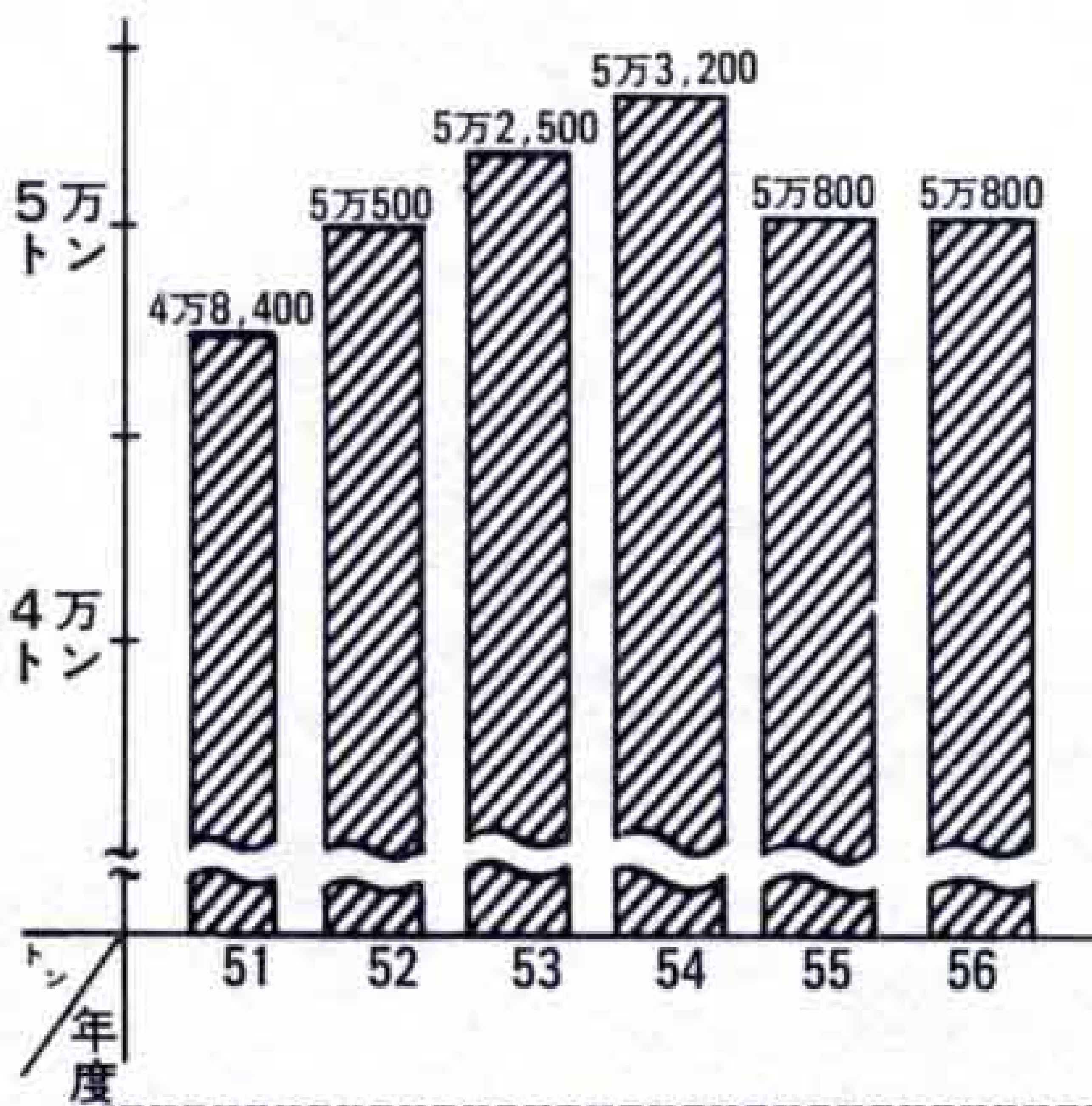
夏場のごみは燃えにくい

過去10年間の生ごみ月別量



夏場は、生ごみの増える時期でもあります。スイカ、ブドウ、メロンなどの果物は、私たちにその味を十分に楽しませてくれます。しかし、これがごみとなると大変。夏場の生ごみは水分が多いため、非常に焼却しにくくなります。このため、焼却場の能力は大幅にダウン。生ごみは、特に水切りをしっかりとしてから出してください。

ごみ量の推移



## 増える処理経費

私たちの生活が豊かになるにつれて、ごみの量と処理する費用は年ごとに増えてきました。

昨年1年間に、各家庭から出されたごみは5万759<sup>ト</sup>。1世帯あたりにすると906<sup>ト</sup>にもなります。

このごみを処理するために、1年間に8億2,200万円の費用がかかりました。1世帯あたりにすると、1万3,986円負担したことになります。

現在、1<sup>ト</sup>のごみを処理するのに

1万6,196円かかります。

このように、ごみを処理するためには莫大な費用がかかります。

## 月3,609<sup>ト</sup>のごみが

現在、市ではごみを不燃物と可燃物に分けて回収しています。不燃物については、昨年の10月から実施した分別収集によって、相当の減量が図られました。しかし、燃せるごみつまり、可燃物は年々増加し、10年前の3万5,000<sup>ト</sup>に比べ、8,000<sup>ト</sup>も増加しています。



心をこめて人形を作る会員

# 更生に愛の光を

## 更生保護婦人会が人形をプレゼント

富士地区更生保護婦人会は、刑務所、少年院などで、更生の道に歩む人たちの心を少しでもなごませ、早く更生できるように、と願いを込めた和紙人形と愛の手紙を贈りました。

これは、社会を明るくする運動の事業の一環として毎年行っているもの

です。今年の愛のプレゼントは、可愛らしい壁掛用の和紙人形。

この人形は、8月4日市役所で会員たちが、1つ1つ真心を込めて作ったもの。会員たちは、「この人形が少しでも、更生に励む人たちの心の糧になれば……」と話していました。